

吉水第585号  
令和5年11月2日

## 改善報告書

岡山県備前保健所長 殿

岡山県加賀郡吉備中央町  
町長 山本 雅則

令和5年10月19日付け備前保第4513号で指示のありましたこのことについて、次のとおり提出します。

### 記

#### 1 指示された事項

- (1) PFOS 及び PFOA の検査実施状況を時系列にまとめ、報告すること。  
報告には、検査成績書を受領した後の対応を含めること。また、検査結果を活用して作成した水道統計調査などの提出状況も含めること。
- (2) 正確でない報告を行った原因を究明し、再発防止策をとること。

#### 2 改善内容

- (1) PFOS 及び PFOA の検査実施状況については、別紙のとおりです。  
PFOS 及び PFOA については、令和2年11月から（暫定）目標値（50ng/L）を超過していることは町水道課として認識していましたが、緊急性、重大性の認識はなく、特段の対応は取っていませんでした。今後、目標値を超過した項目については、課内で情報を共有し、原因究明等至急対応方針を検討するとともに、直ちに保健所に報告し、対応について協議させていただきます。
- (2) 「令和2年度水道統計調査」では、職員1名で入力作業を行っていたため、PFOS 及び PFOA の検査について、「0.00080mg/L(800ng/L)」のデータを入力するところ、誤って他の浄水場系の結果である「0.000001mg/L(1ng/L)未満」のデータを入力し、ダブルチェック、確認をすることなくそのまま保健所に提出しました。  
令和5年10月14日に実施された保健所の立入検査では、検査成績書の綴りを職員1名で確認しましたが、令和2年度のPFOS 及び PFOA の検査成績書が別葉となっていることに気づかず、検査未実施であると

回答しました。

これらのことは、作業者とは別の職員が点検しなかったことが発生の原因であると判断しました。再発防止策として、複数の職員で点検することとしました。